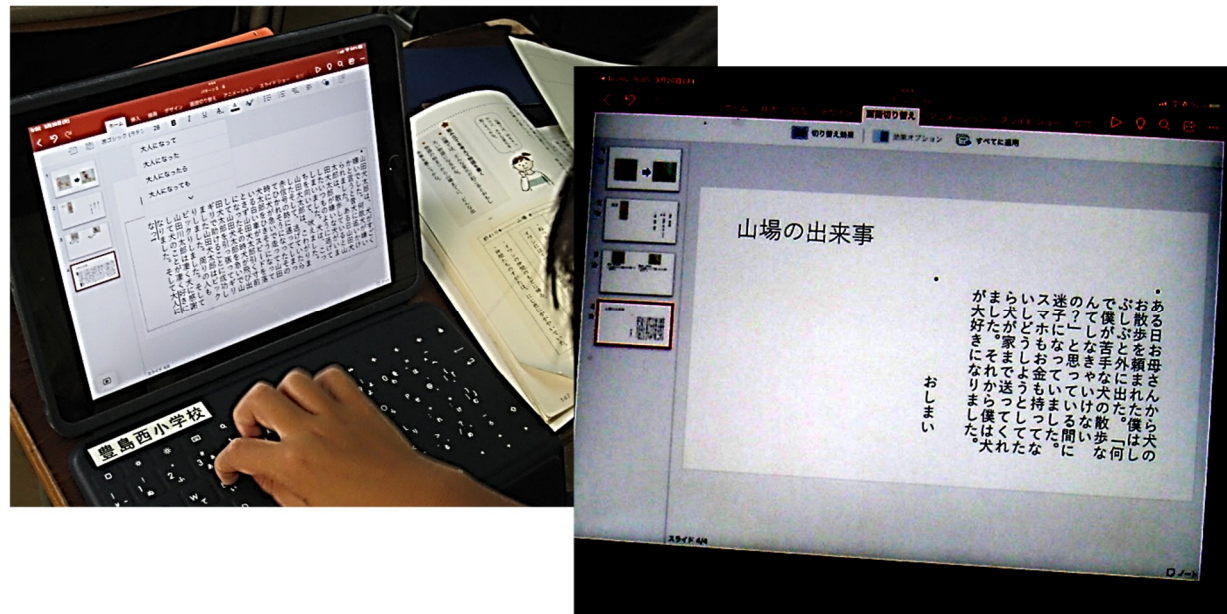


ICT(タブレット)の活用

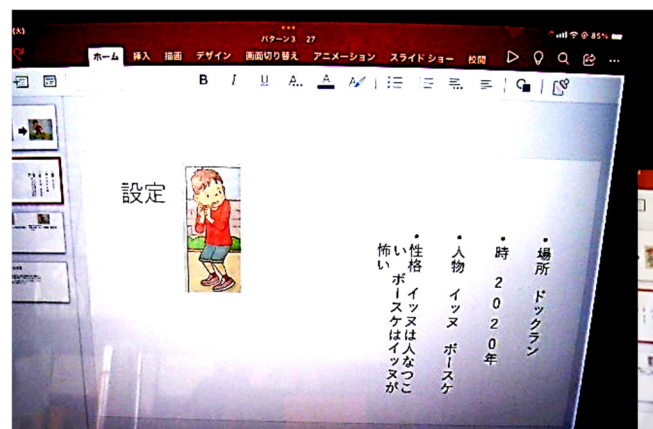
今年度研究を進める中で児童の対話的な活動に、『ICT(タブレット)を活用する話し合う場面・発表する場面等』といったことも、研究部<子どもと学習>では確認をしています。いろいろな教科でタブレットが活躍しているかと思いますが、国語の授業ではいかがでしょうか。

今回は、4年生が国語の指導でタブレットを活用し学習を深めている取り組みを、少し紹介したいと思います。



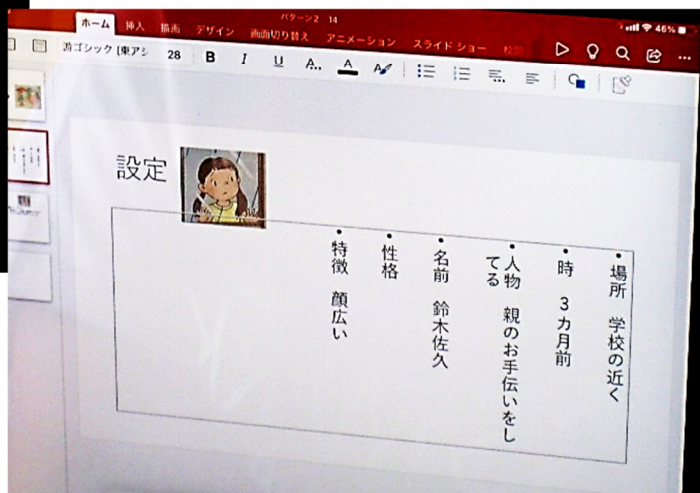
< 4年生・「山場のある物語を書こう」 >

絵を見ながら物語の山場で起こる変化を想像して、物語を書く学習を4年生は進めています。

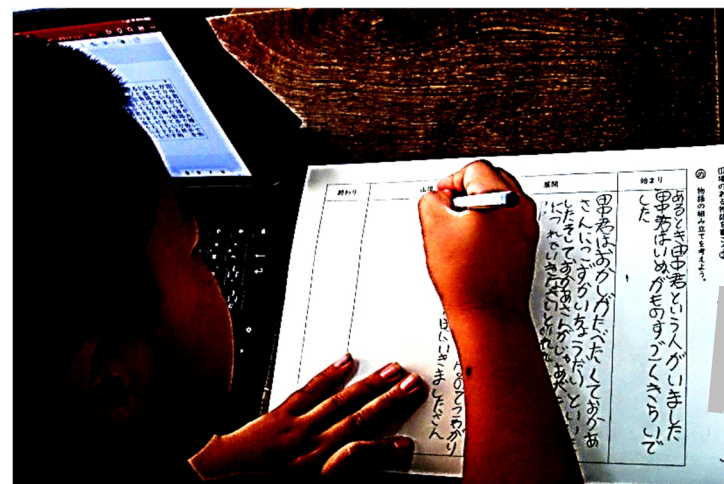


まず始めに物語の設定を、パワーポイントを活用し考え、シートに整理していきます。

シートには選んだ絵のシート・山場をばさんで始めの場面と最後の場面の变化のシート・山場を考えるシートなどがあります。



次に自分がたてた設定をもとに『山場の出来事』の文を考え、パワーポイントのシートに書き込んでいきます。文章をタブレットで作成していくことは、児童はとても慣れていきます。



シートに作成した『山場の出来事』をもとに、今度はワークシートに物語全体の文章を作成し、まとめていきます。パワーポイントにしっかり自分の考えや“山場”などを整理しているので、ワークシートに物語を書いていく作業は、スラスラ進んでいきます。



最後はワークシートに作り上げた物語を、タブレットを使って原稿用紙のひな型に打ち込んで完成です。

ワークシートのみならず、タブレットを有効活用した学習だったと思います。また他学年でもタブレットを使った取り組み、ご紹介ください。